

山弓連 平成24年 8月

平成24年度遠的大会 兼全日本遠的大会権予選

平成24年7月15日(日) 小瀬武道館弓道場

競技時間 9時30分～11時10分

高校の部

順位	氏名	学校名	段位	的中数
優勝	保坂奈津美	甲府第一		7
2位	石崎知矢	巨摩		5
3位	宮下玲奈	富士北麓		4

有段者の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	山下弘行	山梨市	五	7
2位	小泉 茜	笛吹市	三	7
3位	上条剛央	上野原市	四	6

称号者の部

順位	氏名	支部名	段位	的中数
優勝	柳本武彦	甲斐市	錬士五段	4
2位	佐野辰巳	南部町	教士七段	2
3位	菊池俊彦	教職員	教士六段	2

(2位3位遠近競射2中者3名)

射
詰
○
×

遠
近

③中澤国弘(甲府)

成年女子①小泉茜(笛吹)②河西映里(南ア)

③根津里美(笛吹)

少年男子①山崎大貴(吉田2年)②青柳裕太郎(甲府商業2年)③谷戸克也(北壮2年)

少年女子①宮下玲奈(富士北麓3年)②望月祐奈(巨摩3年)③加藤葵(甲府商業3年)

第48回全日本女子弓道大会

(東日本の部)に参加して

女子部長 標 衣枝

表記大会が去る6月3日 群馬県総合スポーツセンターの県立弓道場で開催されました。敷地面積は関東一と言われるほどの、広くて立派な道場でした。

参加人数は604名ということで、早朝より関東から北海道まで選手が続々と集まり

弓道衣装の女性全員で迎えた開会式の光景は壮観でありました。

来年第49回大会は、山梨県で行われることになっています。山梨県からは25名の参加者でした。この25名の人たちは、来年にそなえて選手の他、視察を兼ねて参加して頂きました。全員がそれぞれの持ち場の見学に、本当に真剣に取り組んでおりました。実際に運営する立場で視察すると、600人の運行を、時間の間や、行射の流れなど、スムーズに配慮することの大変さを、改めて認識致しました。

山梨県では、会場の都合も加味したうえで、来年25年5月19日を予定しております。県下女子の参加はもちろん、一般の方々、教職員の先生方、大勢の皆様のご協力を一重にお願い申し上げます。女子部一丸となって取り組む所存ですので、よろしく願いいたします。

特に女子の方で大会にお手伝いできる方は、女子部長迄お申し出ください。

*48回大会の山梨県の入賞者

3段の部 第5位 小泉 茜(笛吹市)

4射3中 (20人の競射による)

明治天皇100年祭 明治天皇御生誕160年記念

第11回明治神宮崇教会全国弓道大会

平成24年7月22日(日)

山梨県代表 一チーム 桑原 良・小俣太一・佐野辰巳の三選手が参加した、当日神宮の会場に集合し始めて顔を合わせ、この大会に初参加の為気合を入れた、全選手が揃って九時本殿にて神社参拝してから開会式を行い、十時より試合が開始された、団体戦は全国から七十五団体が参加した、一回戦は各自一手二回、上位十六チームが選ばれる、二回戦以降は一手一回の的

全国大会関係派遣選手報告

全日本弓道選手権大会出場選手

男子 佐野辰巳 教士七段(南部)

芦沢茂幸 教士六段(笛吹)

女子 佐野弥生 錬士五段(甲府)

関東選抜選手権大会出場選手

有段者の部(5名)

渡邊幸太 五段(吉田) 桑原 良 五段(吉田)

上条剛央 四段(上野原) 羽田穂高 参段(吉田)

根津里美 参段(笛吹)

称号者の部(5名)

深沢武重 教士六段(南ア)

綿奈部博史 錬士六段(甲府)

京ヶ島俊人 錬士六段(教職員)

若杉年久 錬士六段(笛吹)

佐野弥生 錬士五段(甲府)

第63回全日本弓道遠的選手権大会出場選手

男子 (2名) 山下弘行 五段(山梨) 大野晃史 五段(南ア)

女子 (2名)

大野陽子 五段(南ア) 梶原久美子 五段(笛吹)

第67回国民体育大会関東ブロック派遣選手

成年男子①上条剛央(上野原)②羽田穂高(吉田)

中制八チームが選出される、三回戦は的中上位四チームにより順位決定戦が行われる方法で、これからの順位選考は少し変わり同点の場合は三人団体の合計年齢の高い方が上位進出する方法で大会を盛り上げた。

山梨県チームの場合一回戦は12射10中で山梨はトップ通過し、二回戦十六チームの仲間入りを果たした、二回戦は上位八チーム一手で的中以上から三回戦に進む、山梨は4中で通過し三回戦に進んだが、三回戦準決勝では上位八チームで厳しい対戦となりプレッシャーが重なり山梨は2中で決勝戦には駒を進める事が出来なかった。

個人戦は三部門に別れて実施され、各自一手二回で3中以上が決勝射詰めとなる。三段以下・四段五段・称号者と分かれそれぞれが技を競った、四五段の部では桑原選手が予選四中で決勝射詰を果したが一手で予選落ちし、称号の部では100名近い選手の中で、佐野選手が四中で決勝に駒を進め射詰競射となり、一手的中し次の一本で欲しくも上位には進めなかった。

大会の表彰には団体賞・個人賞・敢闘賞・特別射道優秀賞・高齢者賞等の賞状・メダル・並びに副賞弓具製品が入賞者の全員に数多く送られた、その中で佐野辰巳(教士七段)選手が特別射道優秀者として賞状・盾・記念品が授与され山梨の名を轟かせた、目出度い事である。

大会を通して、親睦を深める大会の中でも入場前の執弓の姿勢から入場する、全員の歩行と本座に坐る息合いと呼吸、射位での基本動作と、射法八節は出来るのではなく、流れるように会と離れでの中で伸び合いを充実させ、更に左右の手先だけでなく体全身での縦横の伸び合いが、残心に繋がるように努力しようと心遣いながら行射に専念する事の難しさを知る事が出来た、全体では目に心の動きが現れないよう、的中を目標にするには的は敵ではなく、言ってみれば自分の心かもしれない、弓を射終わって、退場する動作も何時も注意される神前に対する、誠を尽す礼が肝要であることも、この大会を通して学ぶことが出来た。

このような大会には、挙って参加し楽しい一日を過ごすのも良いと思います。(佐野辰巳教士七段)

平成24年度全日本少年少女武道(弓道)

錬成大会の報告

7月21日(土)日本武道館(東京)で、弓道の錬成大会が開催されました。全国から男子155組、女子129組の参加でした。石和町弓道スポーツ少年団は、小学生から練習してきた、中学1年生の女子チーム(斉藤りょう・丸山りな・小澤ゆみ・清水あこ)が参加しました。

予選は立射3人団体12射6中で通過できますが、石

和町スポ少組は「7中」で通過し、決勝戦に望みました。決勝戦に残ったのは14組で、3人団体坐射の12射を行い、石和スポ少組は、「5中」でした。

そこで、同じ5中が5団体あったため、競射となりました。競射は3人それぞれが一手(2本)6射行い、石和スポ少組は「1中」し、みごとベスト8の「敢闘賞」をいただきました。

ちなみに表彰は、優秀賞(2組)、優良賞(2組)、敢闘賞(4組)です。全国から参加している選手たちは、ほとんどが2・3年生ですので、1年生である石和町スポ少の選手たちは、よくがんばったと思います。

バスに相乗りさせていただいた、御坂町スポ少の皆様ありがとうございました。また、ご協力・ご支援していただいた関係する皆様ありがとうございました。これからもよろしくお願ひ致します。

平成24年7月22日

石和町弓道スポーツ少年団 団長 古屋二三男

第21回甲府市長杯争奪県下弓道大会

会場・甲府市立青葉弓道場

平成24年6月10日(日) 天候 晴れ

開会 午前9時 閉会 午後3時30分

恒例の県下弓道大会は、県下一円の弓道愛好家と甲府市内の高校弓道部の生徒、甲府支部員も含め合計百三十名余りの大きい大会となり、開会式には、甲府市体育協会の専務理事末木氏をお迎えして、満員の射場で激励の挨拶を頂きました。天候にも恵まれ、その名も青葉弓道場のケヤキに囲まれ、清々しい環境の中で、参加者は存分に弓を楽しまれたのではないかと主催者は思っております。

成績・高校の部団体

優勝・甲府東高校D(尾崎、若林、飯島)②甲府第一高校B(先崎、青嶋、植田)③甲府東高校B(山口、望月、紅谷)

高校個人の部

優勝・若林里奈(甲府東)②萩原光希(甲府工業)③小澤大(甲府第一)④植田慶(甲府第一)⑤赤澤木の実(甲府第一)

一般の部団体

優勝・笛吹市A(藤原、坂牧、齋藤)②中央市(青嶋、渡辺、上田)③富士吉田A(羽田、桑原、渡辺)④富士吉田C(曾根、小山田、舟久保)⑤甲府A(中太、豊田、中澤)

一般の部個人 優勝・坂牧雅夫(笛吹市)②渡辺洋(中央市)③中澤国弘(甲府)④羽田穂高(富士吉田)⑤岩崎博(大月市)⑥伏見康孝(都留市)⑦齋藤勝利(富士吉田)⑧小泉茜(笛吹市)⑨大森勇志(南ア市)⑩大野陽子(南ア市)